

野菜の展望

今月は本格的な秋冬野菜の出荷時期を迎えます。生育期の曇雨天の影響から、全国的に生育遅れが散見され、品目によっては端境期の発生が懸念されます。前月までは高単価での市況推移となりましたが、今月も平年より高めの相場展開となりそうです。

根菜類の大根は石川産から千葉産中心へと切り替わります。人参は上旬まで北海道・青森産中心の出回りとなりますが、それ以降は石川・岐阜産が入荷します。小かぶは金沢市砂丘地産が露地物からハウス物に切り替わって入荷します。蓮根・甘藷については石川産を中心に茨城産の入荷となり、甘藷はやや大玉傾向となります。里芋については福井産を中心に各産地からの出回りがあり、石川産については伝燈寺イモが少量ながら入荷があります。里芋は全体的に若干の小ぶり傾向と見られます。

果菜類ですが、胡瓜は上・中旬が石川・群馬産主体、中旬以降は高知産が増量で中心産地となり、下旬より愛知産が加わります。南瓜はトンガ・ニューカレドニア産に加え、石川産の抑制物の入荷があります。茄子は高知産主体で長茄子については熊本からの入荷があります。トマトは石川・愛知・岐阜産の安定した入荷がありますが、石川産は徐々に減少傾向となります。ミニトマトは愛知産主体に入荷は順調と思われれます。ピーマンは茨城産が減少するものの、高知・鹿児島産が増量となる見込みです。

葉茎菜類の白菜は石川・茨城産の入荷となります。キャベツは愛知主体に石川・長野・茨城からの出回りがあります。葱は石川産の束物、群馬・埼玉産の関東産地と東北産地のバラ詰品の入荷があり、関東産は平年並みの入荷が予想されます。小松菜は石川産を中心に岐阜・福岡・関東産の入荷です。ブロッコリーは石川産を中心に愛知・香川等の四国および長崎等の九州産の入荷となります。

菌茸類の椎茸は石川産を主体に徳島・富山・長野・兵庫等の菌床物と下旬より石川産原木物の入荷で、需要期を迎えて数量は増量となります。えのき・なめこ・しめじ・舞茸等のきのこ類についても、各農協の系統物や企業物（ホクト・雪国・ミスズライフ）を含めて、安定入荷となります。季節物の松茸は地物の石川産が上旬でほぼ終了となり、同様に中国産も中旬にて終了予定となっています。アメリカ産については例年通りで12月までの入荷が予定されています。

土物類では馬鈴薯・メークインが北海道産中心の出回りとなります。台風の影響により前年を下回る入荷が見込まれます。特にメークインの入荷は少なめです。玉葱については北海道産で、大玉中心の潤沢な入荷見込みです。長芋は北海道・青森からで、秋掘りについては北海道産が上旬、青森産は中旬からの入荷予定となっています。牛蒡は青森産中心の入荷を予定しています。

今月は各産地より秋冬野菜が潤沢に出回る月となります。各種のイベントに合わせた企画立案による販売拡大にご協力をお願いいたします。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、秋冬果実は本格的な出回りシーズンを迎えます。

今月の果実は主力品目であるみかんが極早生みかんから早生みかんへと切り替わる時期となり、福岡・長崎・和歌山・愛媛等の各産地から入荷があります。今年は表年にあたりますが、前年の出荷量が少なかったことや隔年差是正の効果もあり、出荷量は前年並みと見られています。玉流れについてはM玉中心になると予想されます。

柿については能登町・かほく市を中心に金沢近郊の内川・浅川地区等から、さわし柿・渋柿・甘柿の入荷となります。和歌山産の平核無柿は上旬にて終了見込みで、その後は、福岡・岐阜・奈良産の富有柿、愛知産の次郎柿の販売予定となり、いずれの産地も前年に比べ前進出荷となる予想です。

りんごはふじの出荷が本格化する時期に入りますが、他にジョナゴールド・王林・紅玉といった品種も加わり、青森・長野・山形等の各産地からの出回りで、前年並みの入荷になると思われます。

ブドウ類は長野産の露地作巨峰や岡山産の紫苑・コールマン等の入荷があり、入荷量については前年よりやや減少すると予想されます。

瓜類では静岡産のマスクメロンや、熊本・高知産のアールスメロン等が出回ります。作付面積が減少しているために入荷も減少となります。

莓は愛知産を中心として、上旬から出荷が始まり、順調な入荷になると予想されます。

洋梨は山形産のラ・フランス中心の入荷で、12玉・14玉の大玉中心の玉流れとなります。

輸入果実のバナナはフィリピン産中心に南米産の入荷で、各産地ともに順調な入荷が予想されます。価格については前年並みにて推移するものと思われます。オレンジは前半がオーストラリア産・ネーブル種、後半はバレンシア種が入荷の柱となり、玉流れについては72玉・88玉が中心になるものと予想されます。グレープフルーツはメキシコ産とフロリダ産のルビー・ホワイト種が中心となります。青系は下旬よりイスラエル産・スィーティの入荷が見込まれ、順調な出回りが期待できます。レモンはチリ産及びカリフォルニア産の入荷が見込まれます。パインはフィリピン産のゴールデンパイン・スィーティオ種の順調な入荷が予想されます。キウイフルーツはニュージーランド産グリーン及びアメリカ産ゴールドの安定した入荷が見込まれます。その他にパパイヤ・アボカド・マンゴー・ザクロ・カルフォルニア産レッドグローブ・シードレス（種無）ブドウ等が順調に入荷します。以上、今月も尚一層の拡販を宜しくお願い致します。

《常務取締役（野菜本部長） 大西 信哉》